

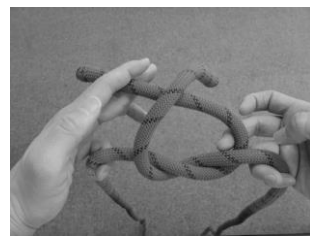
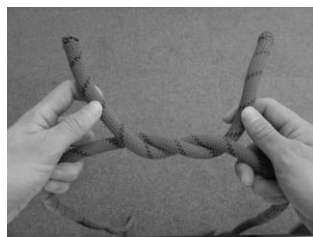
ロープ結索法

1 結合（けつごう）つなぎ合わせる結び方 ※ 接合ともいう。

（1）本結び

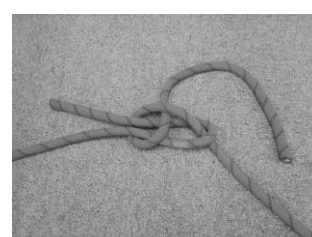
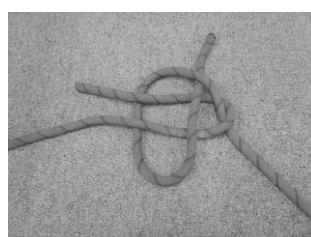
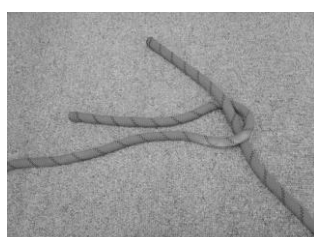
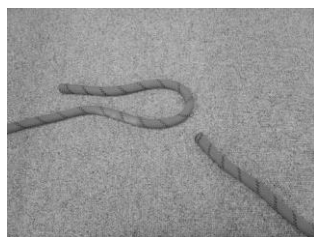
同じ太さ、同じ材質のロープをつなぎ合わせるのに適している。太さや材質が異なる場合には、すべり解けるおそれがある。

また、結び方を誤ると「たて結び」となり、力が加わると解ける危険がある。



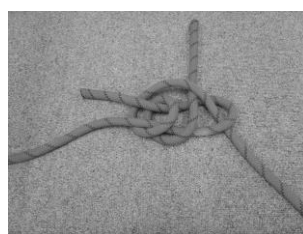
（2）一重つなぎ

太さや材質の異なったロープをつなぎ合わせる時に用いる。二つ折になったロープ側の末端には、半結びをかける。



（3）二重つなぎ

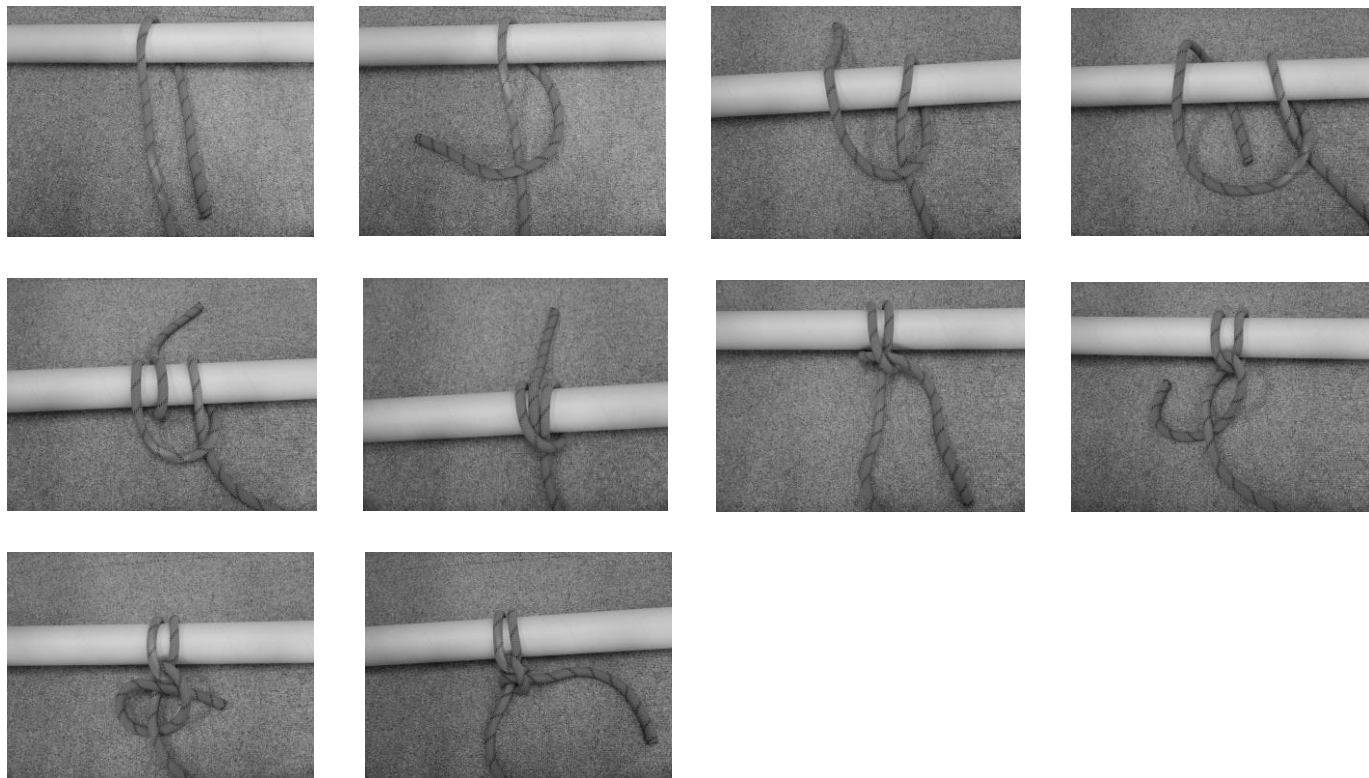
一重つなぎをより、安全にしたもの。



3 結着（けっちゃく）ロープの一方の端で止める結び方

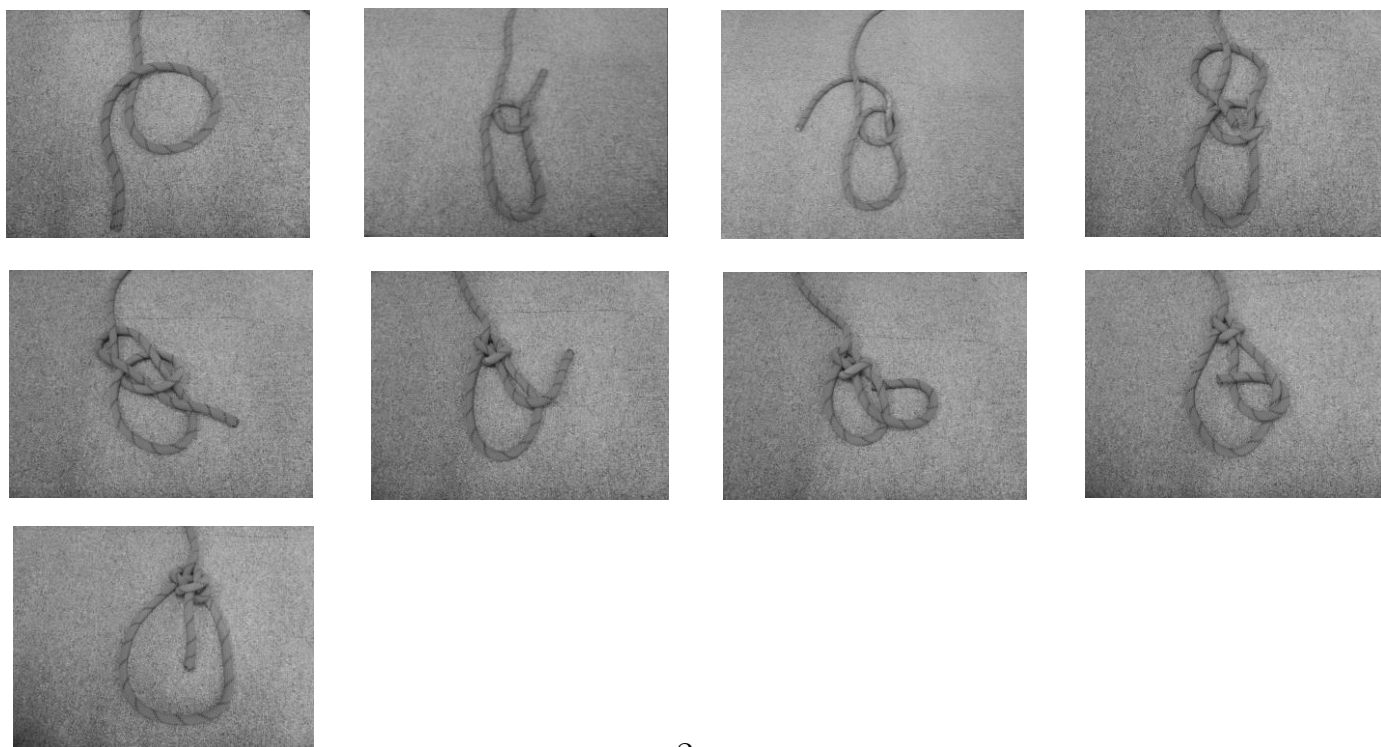
洗濯物を干すためのロープ展張や物の吊り上げ、吊り下げ等に用いる。

(1) 巻き結び

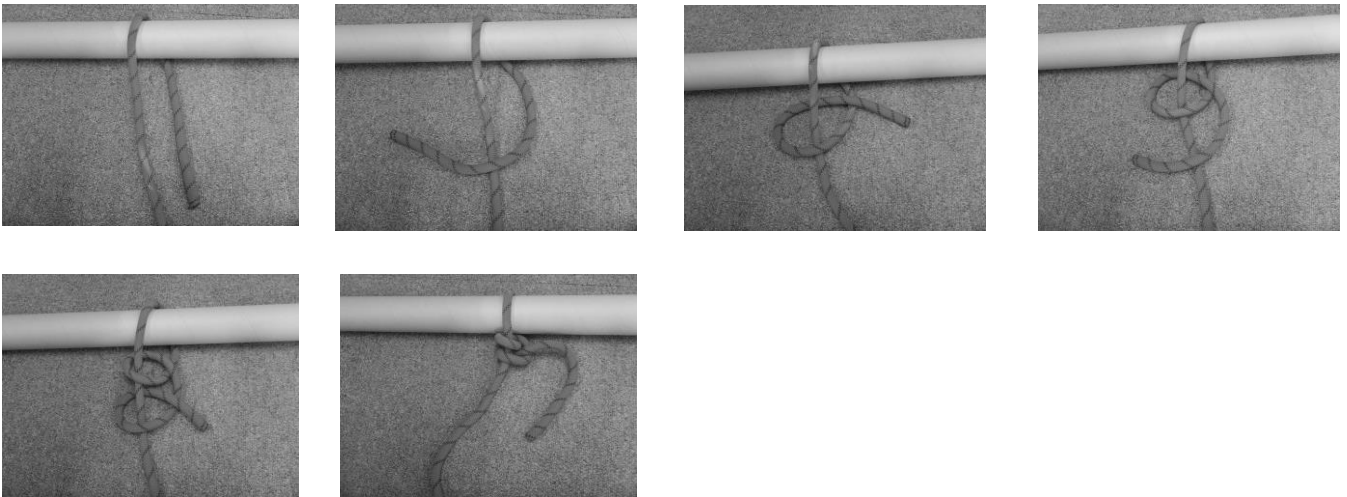


(2) もやい結び

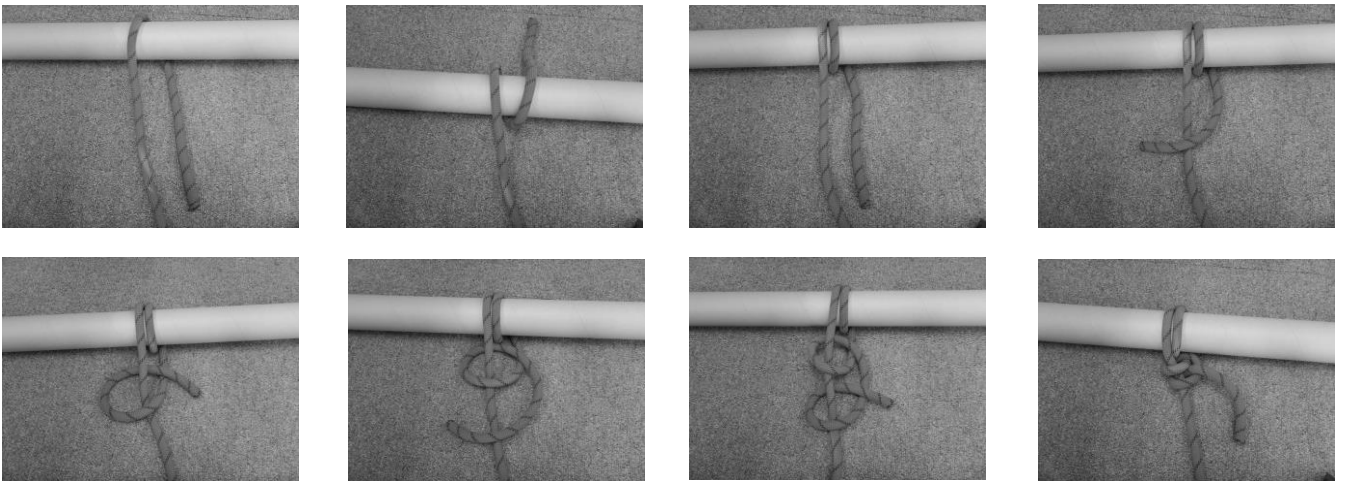
結びやすく、解きやすい結び方として多用される。



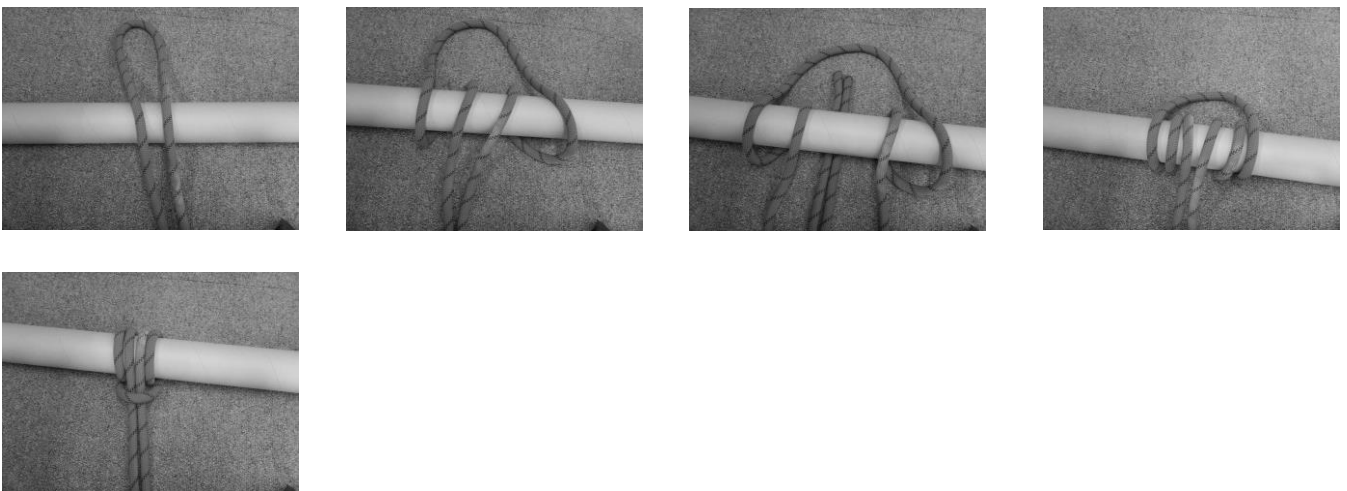
(3) 二結び



(4) 二回り二結び



(5) プルージック結び



取扱上の注意点

- (1) ロープの強度が落ちるため、不必要な摩擦、衝撃を与えないこと。
- (2) 作業中、ロープの監視を怠らないこと。
- (3) ロープが物体の角に当たり、又は異物に接触する恐れがある場合は、保護措置をとること。
- (4) ロープの末端は、十分に余裕をとること。(15 c m以上・こぶし一握り分)
- (5) 正確に結ぶこと。